

日本の真ん中から、
地方創生をリード

こまつ創生戦略 パート PART2

2020 - 2024年度

Flag management

フラッグ マネジメント

こまつ創生は、ひとづくりから

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

1940-2020
小松市制
80
周年



石川県小松市
KOMATSU CITY, JAPAN

はじめに 1

I こまつ創生戦略の位置づけ 2

II こまつ創生NEXTステージに向けて 3

III 旗管理方式(Flag management)による政策展開 3

参考 人口の将来推計と展望(人口ビジョン) 10



2019.7 SDGs未来都市に選定
小松市はSDGs推進の全国モデル



公立小松大学に全国から
集まる若者のパワー



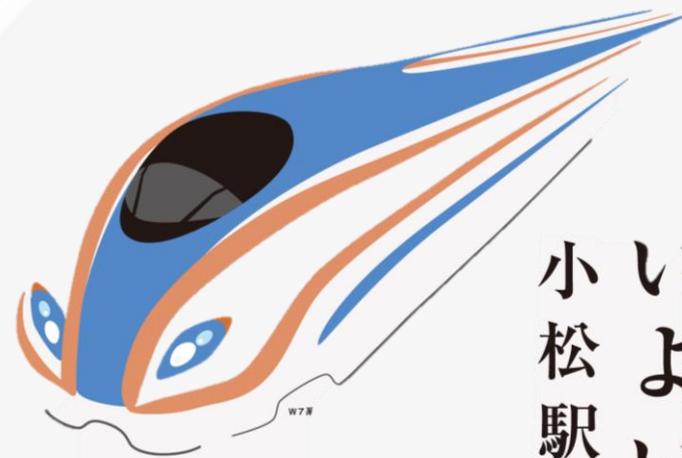
令和の新時代がスタート



こまつ未来予想図



東京オリパラのホストタウン
登録国の数は国内最多級



2023年春
北陸新幹線 小松駅開業

いよいよ
小松駅へ

北陸新幹線小松駅開業
キャッチコピー&ロゴマーク

※このページは、新型コロナウイルス感染症に関する緊急状況、および同時期のこまつ創生会議の結果等を基に追補したものです
(次ページ以降も、同会議での意見やその後の本市の緊急対応等を踏まえ、4月時点の内容から一部見直し等を行っています)

令和2年1月からこれまで5ヶ月間、世界中を震撼させている感染症は、適切な治療法や薬がない中で、医療関係者の勇気と市民一人ひとりの予防活動により鎮静化しつつあります。しかしながら、ここ暫くは、このウイルスといや応なく「共存」していかねばなりません。

すでに、感染症の第2波は確実とされています。私たちは感染症拡大防止に引き続き取り組むとともに、市民みんなの幸せや市全体の発展を担ってまいりましょう。

当面は、「新しい生活パターン」を取り入れつつ、社会・経済活動を力を合わせ推進していきましょう。

2020年6月 小松市長 和田 慎司

国・県 緊急経済対策（補正予算を編成し、早期収束と収束後に向けた対策を実行）

- I 感染拡大防止策と医療提供体制の整備、治療薬の開発
衛生用品の確保・配布、検査・医療体制強化(オンライン診療・服薬を含む)、治療薬・ワクチン開発 など
- II 雇用の維持と事業の継続
雇用調整助成金の拡充、資金繰り対策、事業者の持続化給付や家賃補助、(県)感染拡大防止協力金、全世帯への特別定額給付、子育て世帯やひとり親世帯への特別給付、納税猶予特例、学生や休業者の生活支援 など
- III 次の段階としての官民挙げた経済活動の回復
自治体による対策支援(地方創生臨時交付金)、観光・飲食等の消費喚起策、文化芸術・スポーツの振興
- IV 強靱な経済構造の構築
サプライチェーン改革、農林水産物の供給・輸出体制強化、リモート化等多様な分野のデジタル改革 など
- V 今後の備え(予備費の創設と活用)

小松市 経済対策 **3つの柱** を掲げ独自政策を段階実行・・・ 令和2年度予定事業の見直しや予算組替え、基金の活用などで柔軟・迅速に対応
さらに、ふるさと納税「**エール協力金**」を創設し支援を呼びかけ

雇用と生活を守る

青少年の健やかな成長やサポートが必要な方のケアを万全に

- 休校中の学習サポートや学童等の受入れ体制強化
- 家庭でのクッキングを通じた食育奨励(未就学児・小中学生)
- 未来を担う若者への学習エール給付(高校生・大学生等)
- 学校・こども園、高齢者・障がい者宅へマスク等を配布
- 緊急の雇用創出と地域でのワークシェア拡大を推進
- いのちと暮らしを守る情報センター設置(各種機関と連携)
- 特別定額給付金等の速やかな交付と対象者の拡大
- 青少年のスポーツ・音楽・芸術を市民大会で応援など

事業の持続と継続を

- 国・県と協調した事業者や生活困窮者への金融支援
- 事業の継続に向けた給付・支援制度
(飲食店等の賃料補助やデリバリー・テイクアウトのスタートアップ、農・水産業や旅客運送、学習塾等の継続支援)
- 収束後を見据えた事業展開と消費喚起
(宿泊業や観光施設等の再開支援、地元店等の消費拡大策)
- 事業承継による事業者の新たなスタートを支援
- 伝統産業の継承(工芸品等を購入し各種施設で活用)
- 新幹線駅で小松の伝統美発信へ展示制作 など

次へのレベルアップ

- 経営モデルチェンジ制度を拡充し、事業の成長を促進
(衛生環境向上やテレワーク導入促進、対象業種の拡大など)
- 農林水産業の雇用マッチングと生産拡大を応援
- サポートカーの普及促進でまちの安全と経済を創造
- 保育・教育現場や救急・防災、公民館等の衛生環境強化
(高機能資機材の整備やトイレ等の自動水栓化など)
- 学校ICT化(GIGAスクール構想)を前倒して推進
- 市役所を始めあらゆる業務のスマート化を加速
(オンライン手続き、リモートカンファレンス拡大等) など

① 次ページから掲げるこまつ創生戦略の政策やKPIは、感染症とその対策による影響等を注視しながら都度検証し、社会の状況に応じて柔軟に見直し・改定していきます



小松市では、国の動きに先駆けて、10年ビジョンでまちの将来をイメージし、バックキャスティングでまちづくりを展開しており、2015年には、日本の人口構造の大きなポイントとなる**2040年に人口10万人以上**を目標に据えて、都市デザインやビジョン、創生戦略等を策定
 現在、合計特殊出生率や社会動態、そして将来人口は国の機関の推計より**上振れ**で推移し続けている
 2040年も10万都市として、人口減少社会を克服しより良い未来を拓いていけるよう、戦略を掲げ引き続きまちづくり・ひとづくりを実行

ふるさとこまつを未来へつなぐ条例 ~PASS THE BATON~ 2016~ 都市デザイン(基本構想)やまちづくりビジョンを定めバックキャスティングでまちづくりを進めることを条例化

小松市都市デザイン 2015~2025 (改訂版) **作業中**
 目標人口を含む新たなまちづくりの方向性を示す指針
 令和2年度中に2040年を目標とするものに改訂予定

10年ビジョン 2011~2020 **NEXT10年ビジョン** 2015~2025 (仮称) **20年ビジョン** 2020~2040 **作業中**
 都市デザイン(基本構想)の具体的なイメージと代用特性を設定
 都市デザイン改訂にあわせて、2040年をイメージする(仮称)20年ビジョンを策定予定

ビジョン実現に向けた 各種の **アクションプラン** (行動計画)

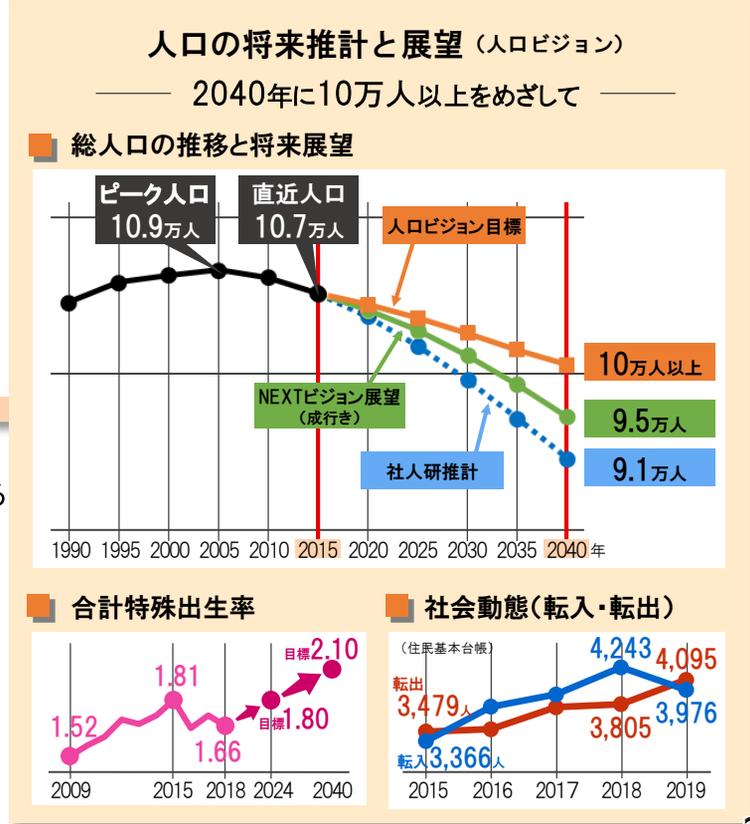
- * 総合プランであるビジョンのアクションプランをはじめSDGs、教育、産業、健康福祉、観光、環境、地域社会など分野ごとに策定
- * 創生戦略は、人口減少社会の克服など地方創生実行・実現への総合プラン



こまつ創生戦略 (PART 1)
2015~2019

こまつ創生戦略 PART 2
2020~2024

(国等の創生戦略の考えや社会変化等も踏まえ作成)



こまつ創生の推進力

Co-creation

共創
のチカラ

市民力・地域力・パートナーシップ

Human

学び
のチカラ

こまつ創生はひとづくりから

PDGA cycle

実行
検証

こまつ創生会議、こまつ創生実行本部(経営会議・全体会議)

5年間の振り返りと時代の大局を見据え、変化を先取りした政策を立案・実行国に先駆けて進めてきた**旗管理方式**で、こまつ創生第2期を展開

■ こまつ創生第1期(2015~2019) — 創生戦略4つの旗印・主な内容と結果 —

- ① はつらつとしたひとづくりで、まちの活力と未来を創生 …… 人材育成、行財政改革 など
 - ・圏域初の**4年制大学開学**[2018.4]。若者の社会動態が**転入超過**に好転した年も
 - ・市債残高は着実に減少。**ふるさと納税**の規模拡大(個人・企業) など
 - ② 女性や若者、多様な人びとのしごとを創生 …… 産業創生、女性の活躍 など
 - ・基幹産業を中心に生産拡大。**6次産業**では酒造やジビエなど新たな動きがスタート
 - ・各世代・女性の**就業率**が向上。就労拡大とともに**外国人居住**等が増加 など
 - ③ こまつでの、家族の幸せなライフステージを創生 …… 結婚・出産・子育て支援、予防先進・健康長寿、住みよさアップ など
 - ・**住みよさランク**は目標クリア。**いきいきシニア**も大きく向上したが男女で開きが見られる
 - ・多様な**子育て政策**に対して、結婚や出生数・率等の向上には課題も など
 - ④ アクセスを活かし、新しい産業や文化、くらしを創生 …… アクセス向上、広域連携 など
 - ・**インバウンド**の進展で海外との交流は大きく拡大したが、全体の伸びは目標に届かず
 - ・**日本遺産**や**ホストタウン**など、小松の強みへの国内外からの評価アップ など
- * **多様なパートナーシップ**が進展し、こまつ創生を加速
(国内外の企業や団体、教育・研究機関、専門家、都市間連携など)
- * ビジョンによるまちづくり手法がSDGs推進の全国モデルとして評価され、第1期最終年の2019年に**SDGs未来都市**に選定

■ これからの大きな節目・出来事 ※R2.3末現在。誘致中や構想段階を含む

- 2030年 **世界** SDGsの目標年 **日本** 訪日外国人旅行者6000万人目標
- 2025 **日本** 大阪・関西万博
- 2024 **小松** (仮称)スマート未来博
- 2023 **小松** **北陸新幹線小松駅開業**、加賀立国1200年祭、国民文化祭、全国花のまちづくりこまつ大会、日本商工会議所青年部全国大会 他
- 2021 **日本** **東京オリパラ** **小松** 小松空港開港60周年、日本遺産サミット、全国社会教育研究大会 他
- 2020 **世界** **新型コロナウイルス感染症流行** **日本** 教育制度改革 **小松** 市制施行80周年、利常公入城380年 (小学校新学習指導要領など)
- 2019 **日本** 令和改元、ラグビーW杯、改正出入国管理法施行 **小松** SDGs未来都市選定

第2期に向けて
4つの旗印や政策、
KPI等を見直し・継続
プラス
SDGsをメインとした
旗印と政策を追加

1

はつらつ - Active -

日本一の学びのチカラで、
まちの活力と未来を創生

第2期(2020~2024)の方向性

オリパラが育むレガシーとともに
これまでもこれからも
未来づくりはひとづくりから

日本全体の課題・時代変化 など

- * 学校カリキュラムや地域での高等教育の役割拡大など**教育改革**が進行
- * 国際大会等を契機に、異文化や**多様性**への理解・普及が進展

こまつ創生戦略PART1 ④テーマ

年間転入者は5年間で**1,000人**増加
15~29歳転入も▲50人から**+65人**に
(2012-14年平均: 2017-19年平均)

- * **こまつ創生**はひとづくりから
- * 幼少期から**切れ目ない人材育成**体制の構築・大学改革
- * まちづくりをリードする**行財政改革**

はつらつとした**ひとづくり**で、
まちの活力と未来を創生

2

おもしろい - Revolution -

アクセスとテクノロジーを活かし、北陸一の国際都市を創生

全国屈指のアクセス力と未来技術で、グローバル時代に北陸の成長をリードします

- * 訪日インバウンド拡大と地方への波及（インフラや滞在環境づくりも促進）
- * 一極集中の是正や広域連携に加え **関係人口**や未来技術の活用促進

アクセスを活かし、新しい産業や文化、くらしを創生

3

たくましい - Innovation -

たゆまぬ改革で、多様な人びとのしごととまちの成長を創生

世界規模の変化をおそれない創造とチャレンジで、産業も行政も進化を続けます

- * **グローバル**やAI・5GなどSociety5.0を踏まえた産業革新がより重要に
- * 人口減少時代の**自治体のあり方改革**に向けた2040年戦略が提起

製造品出荷額等(2017年)
石川県全体の約**5分の1**、北陸3県で**第3位**

- * 層が厚いものづくりパワーの強化（多様な産業立地・育成）
- * 農林業の高度化・**6次産業化**促進
- * **女性の活躍**を積極応援

女性や若者、多様な人びとのしごとを創生

4

こころよい - Renaissance -

やさしさと幸せを追求し、家族みんなの笑顔を生

新時代の日本のモデルとなる誰もが健やかで幸せなこころよい暮らしを創ります

- * **外国人居住**の増加と、人口減少による**都市のスポンジ化**など社会構造が変容
- * **共生社会**づくりと、**人生100年時代**、**働き方改革**など多様なひとの活躍を推進

全国812市区中 **総合16位**
(東洋経済リサーチ 住みよさランキング2019)

- * **トップクラスの心地よい暮らしの環境**づくり(妊娠・出産・子育て、3世代など多様な居住支援、やさしいまちづくり)
- * **予防重視**の健康づくり

こまつでの、家族の幸せな**ライフステージ**を創生

5

うつくしい - Harmony -

人と自然のハーモニーで、世界で輝く未来都市を創生

地球のため、次世代のために多様なパートナーと考え行動し明るい未来をひらきます

- * 気候危機や乱開発等に伴う、**災害激化・多発化**、生態系や**感染症問題**等
- * 諸問題の克服へ**SDGs**による世界全体での意識変革と行動が急務

プラス1

全国815市区中 **総合45位** (社会分野**9位**)
(日経グローバル2018年調査 SDGs先進度)

- * 日本を感じられる自然・文化が広がる**新たな交流・学びの活動や滞在拠点**に
- * **たくましい市民力・共創の力**
 - ・防災や環境美化などが盛んな地域性・市民意識を活かし高める
 - ・まちづくりパートナーシップが拡大
- * **SDGs未来都市こまつ**
他に先駆けたまちづくり手法で、国際化時代の地方創生をリード



日本一の学びのチカラで、まちの活力と未来を創生

- ▲ 若者転出入（15～29歳） 2015～19年平均 転入超過+38人 ▶▶▶ 2020～24年平均 転入超過+100人
 ▲ 若者就業率（20～34歳） 2015年 96.0% ▶▶▶ 2025年 98%（学生等の非労働力人口を除いた割合）



Key Policies



○ 幼少期からの一貫教育を際立たせ、大きな成長力に

- ① 特色ある学びのさらなる充実と、世代間での共有（教育のシャワー効果）
- ・こども園を拡大・充実し、保育と教育を両立
 - ・カブッキーランドをはじめ、幼児期の知育や食育を応援
 - ・学校での理科科学・プログラミング・国際教育、仕事体験、GIGAスクール化を推進
 - ・サイエンスヒルズでは、宇宙やSDGsを通じた未来教育も展開
 - ・スポーツ・音楽・芸術、伝統文化、自然体験を通じ、豊かな人間力を育む
 - ・市民大学等でのリカレント充実をはじめ、地域全体での産業人育成を推進
 - ・外国人住民の日本語教育充実と子どもの初期指導センターを開設
- ② ひとつづくりの機能強化とまち全体への展開
- ・小松駅周辺を「学びのゾーン」に。多様なひとつづくり産業を集積
 - ・地域特性や歴史を活かした学びの拠点づくりを推進

○ 教育の仕組みをグレードアップ

- ③ 教育目標「学びの道しるべ」をリニューアルして展開
- ④ 小中一貫の義務教育学校の開校と魅力充実
- ⑤ 市立高校や公立小松大学をNEXTステージへ改革・進化
 （高大連携クラスで高校での専門カリキュラムやキャリア教育を推進、多様な機関との連携強化、留学・インターンシップ、さらなる教育高度化など）

オリパラを、みんなの心を育むレガシーに

○ 東京オリパラとホストタウンを契機としたひと・まちづくり

- ⑥ 国際化や多様性・インクルーシブへの理解促進やボランティア文化の普及
- ⑦ 共生社会ホストタウンをリードする、人びとの多様な活動を推進（ゆるスポーツや音楽・芸術、学びなどの活動支援や施設の充実など）
- ⑧ 国内外で躍動するアスリート・アーティスト・サイエンティスト等を育成（指導者育成、専門トレーニングの充実、褒賞制度など）
- ⑨ トップレベルの大会に対応できる施設機能の充実と開催誘致



Key Performance Indicators

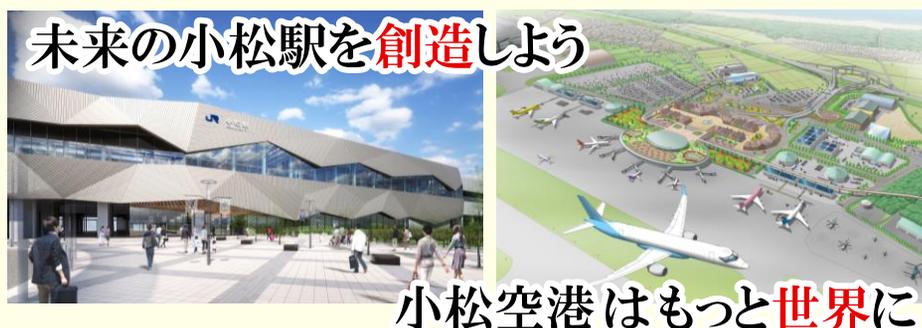
- ✳️ 小松駅学びのゾーン人材育成数 2018 年間延べ76万人 ▶▶▶ 2024年 120万人
- ✳️ 公立小松大学 海外留学・派遣学生数 2019年度 47人 ▶▶▶ 2024年度 100人
- ✳️ 産業人材育成数 2020～24年度の5年間で 合計10,000人
 （市等による社会人向け研修等受講者延べ数）
- ✳️ アスリート・アーティストの活躍（小中高校生の全国大会等出場者数）
 - ・スポーツ分野 2018年度 468人 ▶▶▶ 2024年度 500人
 - ・音楽・芸術分野 2018年度 277人 ▶▶▶ 2024年度 300人

アクセスとテクノロジーを活かし、北陸一の国際都市を創生



◀ 交流人口	2018年度 396万人	▶▶▶ 2024年度 700万人
◀ 外国人宿泊者数	2018年 25,899人	▶▶▶ 2024年 50,000人

Key Policies



○ 全国屈指の高速交通ネットワークをさらに向上

- ① 2023年春、北陸新幹線小松駅開業と利用促進（南加賀のターミナルへ）
（駅舎や駅ナカ・駅前広場等の整備、開業プロモーション、通勤・通学を含む北陸をはじめ広域での開業後の利用拡大、並行在来線の利便度向上 など）
- ② 小松空港の国際化と機能拡充
（旅客便・貨物便や広域利用の拡大、中期ビジョンづくり など）
- ③ 小松にしかできないレール（新幹線）&フライト（国際空港）の魅力アップ
- ④ ビジネス・観光等に資する広域道路網と北陸新幹線大阪全線整備を促進

○ アクセスや新技術を活かした多くを惹きつける都市づくり

- ⑤ 空港周辺・駅周辺の都市機能をレベルアップし、際立ったエリアに
（New臨空ゾーンに向けた土地区画整理、小松駅周辺への多様なひとづくり産業の集積、立地促進制度の充実、両拠点を結ぶ自動運転ビークルの導入 など）
- ⑥ Society5.0の未来技術を積極活用し、デジタルアクセス力も向上
（5Gなどの環境整備や、遠隔技術を始めた新技術の多様な分野（産業や教育、健康・医療、防災・減災、地域交通など）での利用・普及を促進）
- ⑦ 企業本社機能や教育研究機能、政府機関等の受け入れを促進

地域資源⑦大ブランドを磨き上げ、活かす

○ ビジネス・教育・観光等でのグローバル交流と小松ファンを拡大

- ⑧ 「歌舞伎」、「科学とひとづくり」、「環境王国」、「乗りもの」、「珠玉と石の文化」、
プラス「水郷のまち」、「加賀国府ロマン」のまちづくり戦略
（各エリアの魅力と滞在環境向上、物産や旅行商品の企画開発・販促、
新幹線駅舎など拠点施設での小松の伝統美を発信 など）
- ⑨ 特長を活かした国内外のMICEや大会等の誘致と開催支援
（北陸3県での日本博、加賀立国1200年祭、国民文化祭、(仮称)スマート未来博 など）



Key Performance Indicators

- ✳ 小松駅年間乗車人員 2018年度 165.5万人 ▶▶ 2024年度 200万人
- ✳ 小松駅前基準地価（駅東商業地・2017年比） 2024年度 +20%
- ✳ 小松空港国際線旅客数 2018年度 24.4万人 ▶▶ 2024年度 30万人
- ✳ 国等からの地域資源評価・認定数 2020～24年度の5年間で 合計30件
- ✳ 関係人口（小松ファン）の拡大
 - ・ MICE(学会・コンベンション等)参加者数 2020～24年度の5年間で 合計100万人
 - ・ スポーツ大会・合宿参加者数 2020～24年度の5年間で 合計 15万人
 - ・ ふるさと納税寄附者数 2018年度 延べ6,654人 ▶▶ 2024年度 20,000人

たゆまぬ改革で、多様な人びとのしごととまちの成長を創生

- ▶ **ものづくり産業力**（製造品出荷額等） 2017年 6,151億円 ▶▶▶ 2024年 7,000億円
- ▶ **将来負担軽減**（市債残高） 2018年度 1,219億円 ▶▶▶ 2024年度 1,000億円



Key Policies



あらゆる産業を未来型に進化

○ 事業の持続と継続、そして全産業のイノベーションを加速

- ① まずは**生業や雇用を守るための経済対策**を国・県とも協調し緊急実行（金融支援の拡充、賃料や事業再開等への給付助成、緊急雇用創出など）
- ② そして、**新しい社会・消費スタイルに対応したビジネスへの転換を促進**
- ③ **ものづくりはひとづくりから**。理科教育の充実や多様なひとづくり産業の集積、**シニア等の活躍や人材の育成・指導を地域全体で進める仕組みづくり**
- ④ **グローバル企業の技術力・危機管理・環境対応等を、農林業や中小事業者を含むあらゆる産業で展開し、生産性や競争力、管理力、衛生環境を向上**
- ⑤ **共稼ぎ時代での仕事の改革を積極促進**（リモートを始め**新技術の活用**や、**複業を含む多様な働き方の追求**、誰もが働きやすいやさしい職場づくりなど）
- ⑥ **女性やシニア、若者等の活躍を応援**。多様な視点やセンス、技能の発揮で新たな価値創造を（**起業支援やフォローアップ**、活動拠点づくりなど）
- ⑦ 学生等の就労機会を拡大（**地元就労・起業支援、インターンシップ**など）

○ バランスの取れたたくましい産業都市づくり

- ⑧ **アクセス力を活かした新産業団地への企業立地を促進**
- ⑨ **農林業の高度化・6次産業化**や、新たな製品の開発と生産拡大、未利用品活用を高め、**ブランド価値向上と国内外への販路を拡大**
- ⑩ 乗りものに代表されるものづくり技術や伝統産業、食文化など、**地域の強みを活かした魅せる産業観光**を推進

市民の安心・信頼のために 改革にまい進

○ 危機意識と対応力を一層強化

- ⑪ **ロボットや超高速通信など新技術を駆使して、消防・救急等の機能をさらに強化**
- ⑫ **防災・減災、感染症対策**など、**強靱なまちづくり**（河川改修など水防力向上、ハザードマップ改訂、避難所の機能強化、公衆衛生、備蓄や医療体制の充実など）



○ 行財政改革を引き続き徹底して実行

- ⑬ **新時代にふさわしい自治体に進化**（アウトソーシングや多様な連携、AIやIoTなど新技術の積極導入、公共施設マネジメントの推進、広域行政改革など）
- ⑭ **機動的・身近な組織づくり**（意思決定のスピードアップ）
- ⑮ **将来負担を徹底して圧縮**。固定費圧縮等による柔軟な財政構造づくりとふるさと納税や補助メニューなどによる財源確保推進
- ⑯ **職員育成でまちづくりのプロ集団に**（専門性と能力向上）

Key Performance Indicators

- ✦ **女性就業率**（20～64歳） 2015年 78.3% ▶▶▶ 2025年 85%
- ✦ **シニア就業率**（65～79歳） 2015年 34.9% ▶▶▶ 2025年 40%
- ✦ **やさしい職場づくり推進事業所数** 2020～24年度の5年間で 合計200件
- ✦ **マイナンバー個人番号カード交付数** 2020年1月 1.45万枚 ▶▶▶ 2024年度 9万枚
- ✦ **業務改革数**（市役所全体） 2020～24年度の5年間で 合計100件

※能力を活かした起業や多様な働き方など就業形態や内容も注視していく

人と自然のハーモニーで、世界で輝く未来都市を創生



▲ ようこそ小松(転入者数)	2019年	3,976人	▶▶▶	2024年	5,000人
▲ 住みよさランキング	2019年	総合16位	▶▶▶	2024年	10位以内

Key Policies

豊かな自然とクリーンな環境が人びとを魅了する



未来都市を共に創ろう

○ みんなの想いと行動で、困難を乗り越え ふるさとを未来へつなぐ

- ⑤ 市民や企業などと一緒に、環境負荷軽減への**エネルギー改革**を推進
(再生可能エネルギーへ転換、廃棄物削減や低炭素社会への計画・制度づくり、SDGs宣言の拡大、市民等の活動支援、学校等でのSDGs教育など)
- ⑥ **防災・減災、感染症対策など、危機意識と対応力を一層強化** [再掲]
- ⑦ SDGsゴールへ、経済・社会・環境分野のバランスを重視した循環社会を形成
- ⑧ 金融機関等と連携して、社会や環境向上に資する企業活動を促進

○ 未来志向のまちづくり

- ⑨ **多様なパートナーシップ**でまちづくりをレベルアップ
(国内外の企業や団体、教育・研究機関、専門家、都市間連携 など)
- ⑩ ボランティアや寄附文化(ふるさと納税)など、人びとの行動・意識の変化をまちづくりに大いに活かす
- ⑪ ビジョンを描き、**バックキャストによるまちづくり**を引き続き展開
(仮称)20年ビジョンと各種計画の策定・見直しを推進)



○ 豊かな自然や清潔さに満ちたSDGs未来フィールドを形成

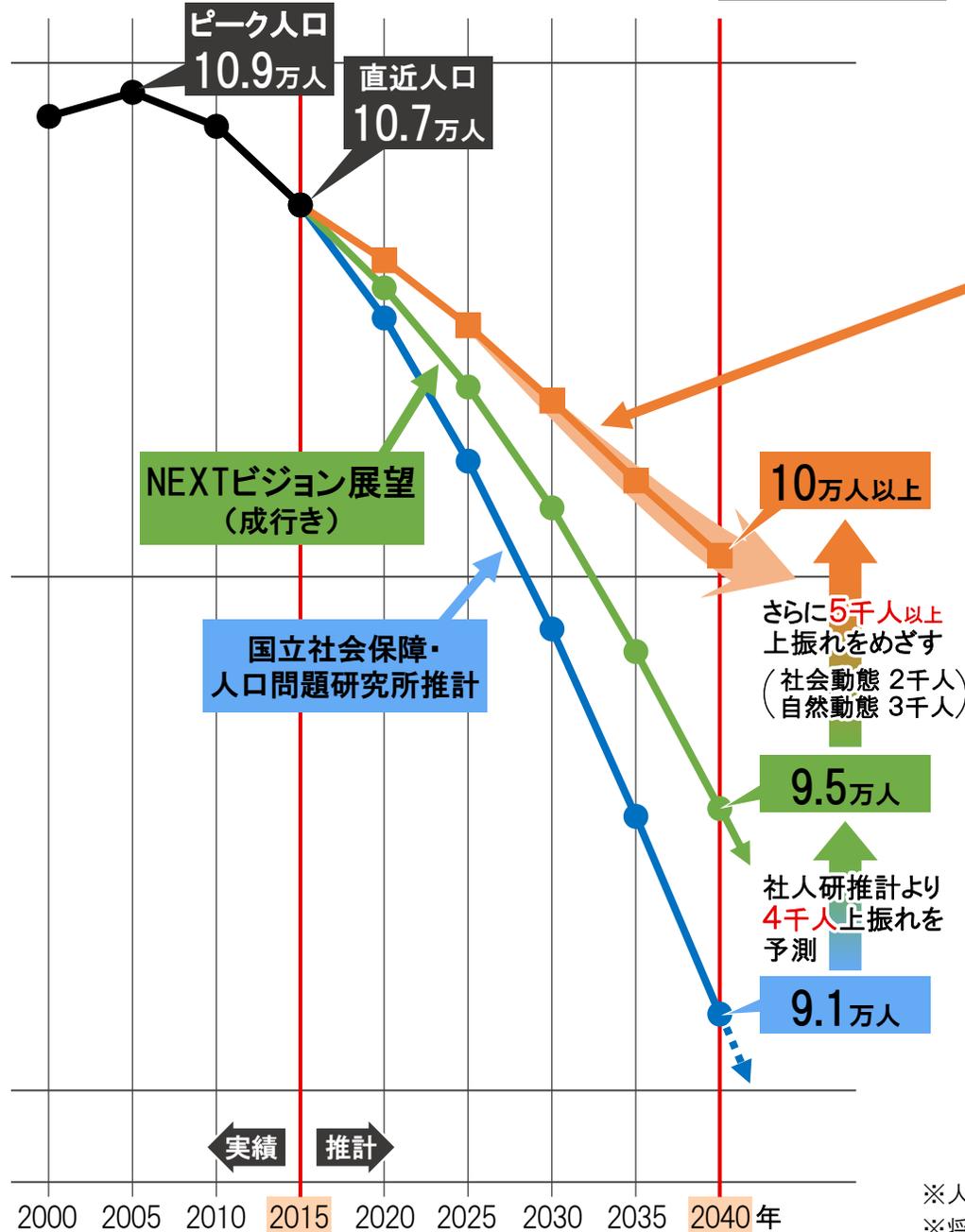
- ① **里山・水郷エリアの魅力アップと新たな拠点づくり**で、国内外からの多様なステイや移住、就労等を推進
(観光や食、歴史探究、大学等による学術研究や創作活動の促進 など)
- ② ビジネス・教育・観光等でのグローバル交流と**小松ファン**を拡大 [再掲]
- ③ 里山・山林の保全と資源の有効活用を促進
(木質バイオマスなど再生可能エネルギー、酒米など高付加価値作物への転換やブランド化、**in・outの海外展開支援**、ジビエや規格外品の活用など)
- ④ 環境共生の輪を広げ、まちの風格や雰囲気アップと定住・交流を拡大
(フローラルこまつ、白砂青松再生、**公衆衛生向上**や美化・自然保護活動など)

Key Performance Indicators

- ❁ **ものづくり産業力・6次産業分野** 2017年 109.5億円 ▶▶▶ 2024年 150億円
(製造品出荷額等のうち食料品・飲料製造業)
- ❁ **エネルギー改革推進**
 - ・木質バイオマスチップ活用 2018年度 2,160トン ▶▶▶ 2024年度 3,000トン
 - ・里山SDGs拠点の開設(環境と共生する食や学術研究、創作活動等の探究フィールド)
 - ・CEV(グリーンエネルギー自動車)補助交付数 2014~18年度平均約50台 ▶▶▶ 2020~24年度平均200台
 - ・リサイクル率(一般廃棄物に占める割合) 2018年度 22.8% ▶▶▶ 2024年度 33%
- ❁ **多様なパートナーシップ拡大** 2020~24年度の5年間で 合計10件の連携等

総人口の推移と将来展望

2020年1月現在



人口ビジョン目標

— 2040年に10万人以上をめざして —

総人口

2015年
直近人口
10.7万人

2040年
社人研推計
9.1万人

2040年
目標
10万人以上

活力人口(15歳~64歳人口)

2015年
直近人口
6.2万人

2040年
社人研推計
4.8万人

2040年
目標
5.2万人以上

20歳以下人口

2015年
直近人口
2.1万人

2040年
社人研推計
1.6万人

2040年
目標
2万人キープ

いきいきシニア率 (75歳以上で介護認定を受けていない人の割合)

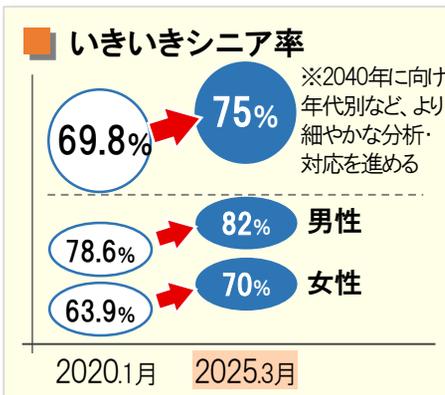
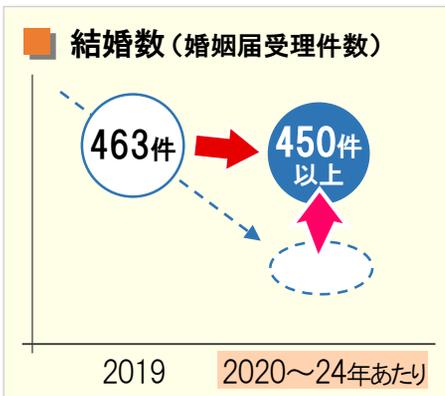
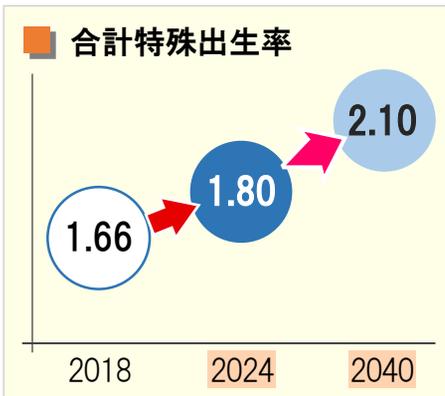
2020年1月
69.8%
男性 78.6%
女性 63.9%

2024年度末
75%
男性 82%
女性 70%

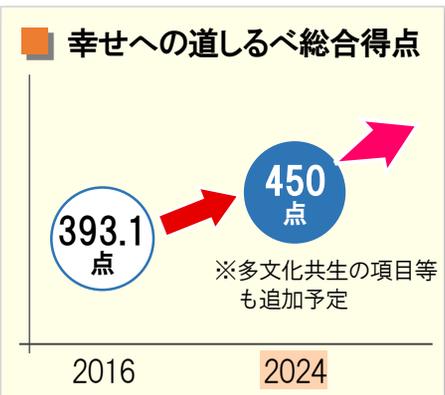
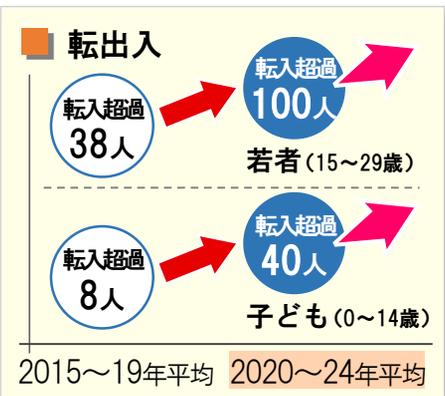
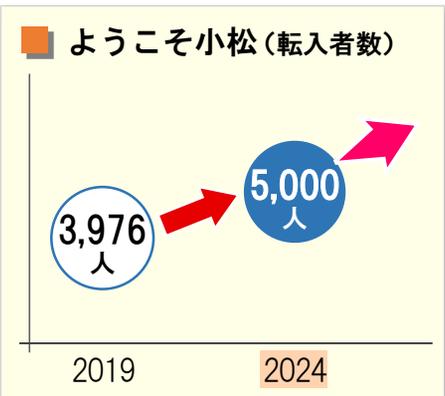
2040年に向けて
年代別など、より細やかな
分析・対応を進める

※人口は国勢調査を基準とし、外国人等の居住も含まます
※将来推計は、社人研およびその推計方法を参考に市で独自推計したものです

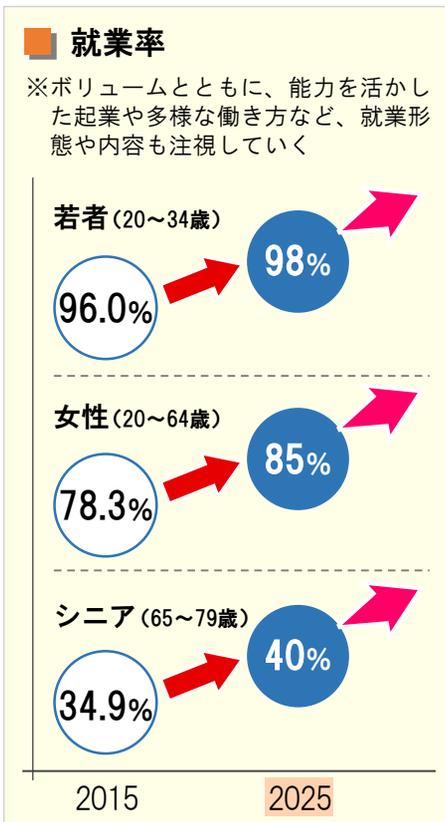
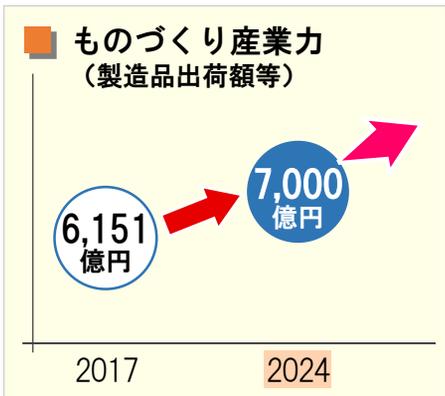
結婚・出産、健康長寿



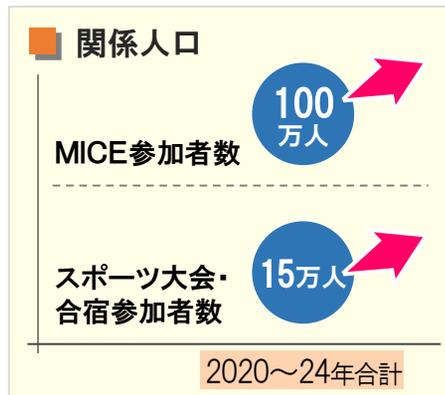
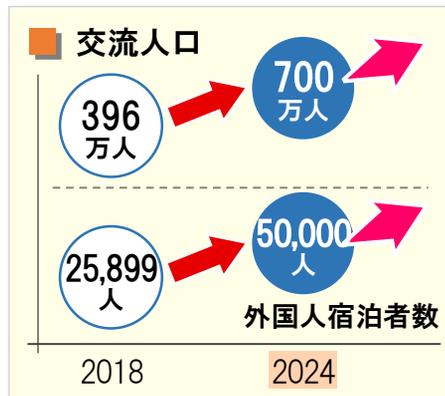
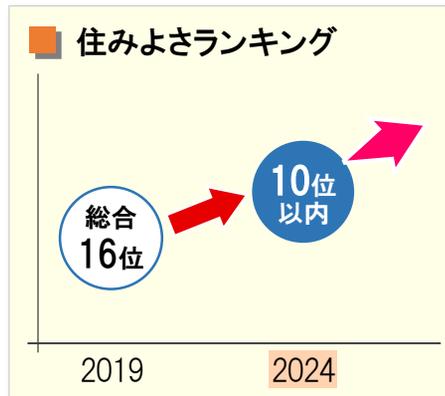
ひとの流れと暮らし



産業・しごと



まちの魅力と交流



① 日本一の学びのチカラで、まちの活力と未来を創生

[策定時の値] [目標値]

数値目標 旗印の	若者転出入(15~29歳)	年平均+38人 (2015~19年)	年平均+100人 (2020~24年)	
	若者就業率(20~34歳・学生等の非労働力人口を除いた割合)	96.0% (2015年)	98% (2025年)	
各種政策のKPI	小松駅学びのゾーン人材育成数	延べ76万人 (2018年)	120万人 (2024年)	
	公立小松大学 海外留学・派遣学生数	47人 (2019年度)	100人 (2024年度)	
	産業人材育成数(市等による社会人向け研修等受講者延べ数)	5年間合計10,000人 (2020~24年度)		
	アスリート・アーティストの活躍 (小中高校生の全国大会等出場者数)	スポーツ分野	468人 (2018年度)	500人 (2024年度)
		音楽・芸術分野	277人 (2018年度)	300人 (2024年度)

② アクセスとテクノロジーを活かし、北陸一の国際都市を創生

数値目標 旗印の	交流人口	396万人 (2018年度)	700万人 (2024年度)	
	外国人宿泊者数	25,899人 (2018年)	50,000人 (2024年)	
各種政策のKPI	小松駅年間乗車人員	165.5万人 (2018年度)	200万人 (2024年度)	
	小松駅前基準地価(駅東商業地)	2017年比+20% (2024年度)		
	小松空港国際線旅客数	24.4万人 (2018年度)	30万人 (2024年度)	
	国等からの地域資源評価・認定数	5年間合計30件 (2020~24年度)		
	関係人口(小松ファン)の 拡大	MICE(学会・イベント等)参加者数	5年間合計100万人 (2020~24年度)	
		スポーツ大会・合宿参加者数	5年間合計15万人 (2020~24年度)	
ふるさと納税寄附者数		延べ6,654人 (2018年度)	20,000人 (2024年度)	

③ たゆまぬ改革で、多様な人びとのしごととまちの成長を創生

数値目標 旗印の	ものづくり産業力(製造品出荷額等)	6,151億円 (2017年)	7,000億円 (2024年)
	将来負担軽減(市債残高)	1,219億円 (2018年度)	1,000億円 (2024年度)
各種政策のKPI	女性就業率(20~64歳)	78.3% (2015年)	85% (2025年)
	シニア就業率(65~79歳)	34.9% (2015年)	40% (2025年)
	やさしい職場づくり推進事業所数	5年間で計200件 (2020~24年度)	
	マイナンバー個人番号カード交付数	1.45万枚 (2020年1月)	9万枚 (2024年度)
	業務改革数(市役所全体)	5年間で計100件 (2020~24年度)	

④ やさしさと幸せを追求し、家族みんなの笑顔を創生

[策定時の値] [目標値]

数値目標 旗印の	合計特殊出生率	1.66 (2018年)	1.80 (2024年)	
	いきいきシニア率(75歳以上で介護認定を受けていない人の割合)	69.8% (2020年1月)	75% (2024年度末)	
各種政策のKPI	幸せへの道しるべ総合得点	393.1点 (2016年)	450点 (2024年)	
	結婚数(婚姻届受理件数)	463件 (2019年)	450件以上/年 (2020~24年)	
	子ども転出入(0~14歳)	年平均+8人 (2015~19年)	年平均+40人 (2020~24年)	
	いきいきシニア率 男女別目標	男性	78.6% (2020年1月)	82% (2024年度末)
		女性	63.9% (2020年1月)	70% (2024年度末)
	たくましい地域力	防災士・しみん救護員数	1,185人 (2020年2月)	2,000人 (2024年度末)
地域協議会設立数		市内7地区 (2019年度)	市内全校下 (2024年度)	

⑤ 人と自然のハーモニーで、世界で輝く未来都市を創生

数値目標 旗印の	ようこそ小松(転入者数)	3,976人 (2019年)	5,000人 (2024年)	
	住みよさランキング	総合16位 (2019年版)	10位以内 (2024年版)	
各種政策のKPI	ものづくり産業力・6次産業分野 (製造品出荷額等のうち 食料品・飲料製造業)	109.5億円 (2017年)	150億円 (2024年)	
	エネルギー改革推進	木質バイオマスチップ活用	2,160トン (2018年度)	3,000トン (2024年度)
		里山SDGs拠点の開設	2024年度までに開設	
		CEV(グリーンエネルギー自動車)補助交付数	年平均約50台 (2014~18年度)	年平均200台 (2020~24年度)
	リサイクル率(一般廃棄物に占める割合)	22.8% (2018年度)	33% (2024年度)	
多様なパートナーシップ拡大(連携等)	5年間合計10件 (2020~24年度)			

こまつ創生第1期 トピックス Topics

2019-2020

- 2月 外国人住民の就労環境向上へ官民一体のサポート体制を構築
- 5月 令和に改元。マリッジ記念フォトやウォーキングなど多数の記念行事開催
九谷焼展示・体験・製土など学びの拠点「セラボクタニ」オープン
- 6月 住みよさランキング(2019年版)が**全国総合16位**に上昇
獣肉処理加工施設「ジビエアトリエ加賀の國」完成。加工・出荷へ準備中
- 7月 **SDGs未来都市**に小松市が選定(全国約1,770の自治体のうち3%)
- 8月 東京オリパラの**ホストタウン**に2カ国が追加登録。計8カ国は国内最多級
- 10月 宇宙飛行士 山崎直子氏がひととものづくり科学館館長に就任
- 2020年1月～ サンリオキャラクター**ポムポムプリン**と共に市制80周年やまちをプロモーション
「いよいよ小松駅へ」キャッチコピーやロゴマークで新幹線開業PRを開始

2017

- 3月 大型商業モールが開業。アクセスや周辺環境を充実
- 4月 JR北陸本線にICカード導入(9月 小松駅開業120周年)
「せせらぎの郷」が**里山健康学校**としてリニューアルオープン
- 7月 小松空港が**訪日誘客支援空港**に認定。以降も就航・増便など国際化が進む
- 11月 梯川・小松天満宮周囲の分水路完成。水防力向上と**浮島の水郷景観**が誕生
- 12月 官民連携による複合施設(**こまつアズスクエア**)完成
知育・食育と育児相談拠点の**カブッキーランド**が小松駅前にオープン

2015

- 4月～ **多様な定住促進制度**を展開('09の制度開始から10年間で2,400人以上が転入)
医療・保健機関・大学と連携し、生活習慣改善や認知症予防を推進
子育ての経済負担軽減・支援拡大(医療費無料化、予防接種助成、認定こども園など)
- 5月 **全国植樹祭**に両陛下がご来松・植樹。全校下で結成した緑の少年団も活躍
- 10月 こまつの社にモデルトレーニングセンターが開所。本社教育機能が拡充
まちの将来構想「**都市デザイン**」制定。翌月には「**NEXT10年ビジョン**」を策定



2018

- 3月 共生社会に向けて**多様なコミュニケーション利用の条例**を制定
- 4月 圏域初の4年制大学「**公立小松大学**」開学
(生産システム・保健医療・国際文化交流の3学域、2021年には1,000人規模に)
- 5月 日本遺産に追加認定「**北前船寄港地・船主集落**」
- 8月 粟津温泉開湯1300年祭。中心部に交流広場がオープン
- 9月 学びの新拠点「**こまつ市民大学**」開校
- 11月 北陸新幹線沿線屈指の名所へ、**木場湯に桜回廊**を整備
- 12月 「SAVOR JAPAN」(食と農の景勝地)に認定
コミュニティの活力向上へ地域協議会の設立促進条例が制定

2016

- 1月 **マイナンバーカード**によるコンビニ交付サービス開始
- 3月 国有地を活用したスカイパーク共生の丘オープン。**臨空エリアの充実**を推進
ふるさとこまつを未来へつなぐ条例を制定。大学などの教育機関や研究機関、
企業や金融・公共機関、専門家など**多様な連携でこまつ創生を展開**
- 4月 **日本遺産**に本市初の認定「『珠玉と歩む物語』小松」
- 6月 航空自衛隊新田原基地から飛行教導群の移転受入れ開始
- 8月 サイエンスヒルズで国際宇宙ステーション(油井飛行士)との交信プログラム
- 10月 **ごみダイエット袋**を導入(家庭ごみ減量化50%OFFをめざして)
市川海老蔵文が安宅の関で歌舞伎「勸進帳」を熱演



最新情報・お知らせはこちら

こまつ創生

検索

